

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
1	17-12	閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	37*27*15	下盤中心は10 cmの石英脈、中央に3 cmの空洞、外側から2 mmの石英連晶、内側のつけね厚さ2~3 cmの黄銅鉱、外側に厚さ2~3 cmのやや鉄に富む閃亜鉛鉱。べっこうに近い丸っこい形の大型。	閃亜鉛鉱
2	17-3	黄銅鉱（銅鉱石）	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	40*22*14	ほとんどが黄銅鉱Φ2~3 cm、Φ1~2 cmからなる鉱石脈、脈中心部か。表面を草色の緑泥石が覆い、その下は石英集合体。	黄銅鉱
3	17-371	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	27*18*14	幅5 cmの石英脈の外側に向かって、方鉛鉱（直径5~10 mm）、自形氷長石（直径5 mm±）、これらはほぼ同時。石英、少量の黄銅鉱、母岩の順である。これらの表面を硫酸鉛鉱の薄膜が覆う。	鉛鉱
4		黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山	13*20*28	双晶状三角銅（直径1~3 cm）。細かい石英+緑泥石が表面に付着。脈の基部1 mm±の石英連晶。母岩は変質安山岩。	耳付双晶グリーンタフ付着（黄銅鉱）
5	17-9	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	28*12*30	外側に黄鉄鉱。脈の内側会合部。	黄銅鉱
6	17-37	方鉛鉱・黄銅鉱・青鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁打当鉱山唐松坑	36*23*21	少量の閃亜鉛鉱、石英含む。塊状、表面は褐鉄鉱と硫酸鉛鉱化。	鉛鉱 青鉛鉱、方鉛鉱、黄銅鉱
7	17-33	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	22*14*28	黄銅鉱と主とし、方鉛鉱や閃亜鉛鉱伴う。内側には石英（針状の連晶）。板状幅5 mmくらいの方解石。（2とほぼ同じ）。	黄銅鉱
8	17-54	石英	青森県浅虫	38*25*10	長柱状（5 cm~10 cm）集合体。隙間に方鉛鉱・黄銅鉱が充填。表面が細粒緑泥石で覆われる。表面の白っぽい鉱物⇒沸石？	六方石
9	17-44	苦灰石	宮城県栗原市細倉鉱山	38*40*18	内側は石英連晶が層をなす。房状に球顆状ないしバラの花弁状苦灰石付着。その上にひし状の炭酸塩（自形直径5 mm）が付着。灰色の毬（アラゴナイトかも）。断面は層状で閃亜鉛鉱、玉髄、ドロマイトからなる。	苦灰石

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
10	17-2	閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山二ノ又坑	38*25*11	鉄少ない、べっこう。直径0.5~2 cmの集合体。母岩は安山岩。脈の基部は黄銅鉱。表面にくすみ。	閃亜鉛鉱
11	13-220	重晶石	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	10*5*10	安山岩母岩を石英が囲む。その上に直径2~3 mm±の閃亜鉛鉱。その上に薔薇状(板状結晶の集合体)の重晶石(直径5 mm)。	重晶石
12	13-47	石英	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山	21*9*8	水晶(長さ3~4 cm, 直径2 cm), 黄鉄鉱(正六面体直径5~10 mm)共生。黄銅鉱・黄鉄鉱の脈上に発達。	六方石
13	13-166	氷長石	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	22*15*18	安山岩母岩→石英 集合体→短柱状も自形氷長石(短柱状)。隙間に2~10 mmの閃亜鉛鉱と少量の黄銅鉱が共生。	氷長石
14	13-221	重晶石		10*7*6	安山岩母岩→石英3 mm厚→バラ花卉状重晶石・石英・閃亜鉛鉱。重晶石は0.5 mm*3~5 mmの板状。	重晶石
15	13-171	石英	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	21*8*16	母岩に黄銅鉱・方鉛鉱・石英が輪状・縞状に発達。石英は紫水晶・緑石英(直径5~10 mm)。	六方石
16	13-55	石英	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	43*23*9	角礫状の母岩(黒紫色赤鉄鉱の母岩)上に直径5~10 mm, 長さ20 mmの石英集合体。	六方石(水晶)
17	13-85	石英	青森県浅虫	37*23*14	長さ2~5 cmの結晶からなる縞状石英脈。母岩は黄銅鉱。表面にはごく小さい輝沸石と石英がはりつく。	六方石
18	13-56	石英	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	7*5*23	玉髓が母岩の空隙を埋めた。または、鉱石表面を覆ったもの?えくぼ状の凹凸。	石英
19	11-316	方解石		8*8*3	錐が長く柱面短い両端方解石(長さ3~8 mm)集合体。脈石に沿って発達。黄銅鉱(半自形)を伴う。	
20	11-261	閃亜鉛鉱・黄銅鉱		14*7*5	安山岩母岩→脈状1 cm厚石英→黄銅鉱(自形3~8 mm)少量の閃亜鉛鉱集合体を伴う→被膜状石英。	

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
21	11-266	黄銅鉱 閃亜鉛鉱		12*10*6	内側から石英→黄銅鉱 (3~10 mm) →閃亜鉛鉱 (5~30 mm) →細粒石英+緑鉛鉱皮膜→緑泥石.	黄銅鉱
22	11-198	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	8*7*4	安山岩母岩→被膜状石英 (2~3 mm厚) →自形石英. 表面が黒鉛色の黄銅鉱 (直径3~10 mm) →黄銅鉱 (直径2~5 mm) .	黄銅
23	11-223	赤鉄鉱・孔雀石		12*4*4		銀鉱石
24	11-358	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	9*8*7	黄銅鉱 (2~5 mm) ・石英からなる中心部→方鉛鉱六面体 (3~15 mm) →表面に細粒の黄銅鉱 (直径1 mm以下) ・石英が覆う.	方鉛鉱
25	11-188	孔雀石・輝銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	12*11*7	多孔質で全体に軽い. 石英集合体の表面に孔雀石・石英がコート. 藍色の部分少しあり (擬孔雀石) .	黄銅鉱
26	11-238	赤鉄鉱・黄銅鉱・緑泥石		15*10*12	角礫状の隙間を埋める銅鉱物.	黄銅鉱
27	ラベルなし	珪孔雀石		18*12*9	安山岩母岩上→角礫状の石英・珪孔雀石, 胆礬集合体. 明淡緑色.	
28	11-239	銅鉱石		15*8*9	石英・黄銅鉱集合体→二次富化で輝銅鉱化. 孔雀石と細粒石英集合体. 一部表面に胆礬が析出.	黄銅鉱
29	11-149	珪孔雀石・擬孔雀石		13*11*10	安山岩凝灰角礫岩の表面・割れ目に沿って石英. 胆礬? (やや淡い緑色) が覆う.	
30		スタンプ粉鉱	粗板手選場	24*18*6		スタンプ粉鉱 明治時代
31	11-271	銅鉱石		15*9*13	細粒石英と孔雀石が付着. 黄銅鉱 (直径5~20 mm) .	黄銅鉱
32	3-31	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	42*25*12	安山岩母岩にはりつく→石英と方解石? 層 (1~2 mm) →黄銅鉱層 (1~2 mm) →直径2~3 cmの黄銅鉱→表面を少量の石英集合体が覆う.	黄銅鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
33	3-30	黄銅鉱・方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁萱草鉱山	27*6*24	安山岩母岩（厚さ2 cm）→表面に多量の自形黄銅鉱（表面酸化している．直径10 mm）と方鉛鉱（直径5 mm）．裏側にまばらな黄銅鉱．被膜状に石英と淡緑色粘土鉱物が覆う．	耳付双晶（黄銅鉱）
34	3-11	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稻荷坑	15*5*25	安山岩の板状母岩（2～5 mm）の両側に成長．表面：縞状石英脈1.5 cm厚．黄鉄鉱（1～8 mm；一部、石英共生）．裏面：黄鉄鉱と石英（直径0.5～1 cm, 0.5～2 cm長）が垂直にのびる．	黄鉄鉱
35	14-75	竹葉石	茨城県常盤太田市	10*14*7	黒色（橄欖石、蛇紋石、磁鉄鉱）の竹葉（0.5 mm*3～4 cm）と白い斜長石．	竹葉石
36	14-247	銅鉱石		11*6*3	表面に針状石英．1.5 cm厚の板状細粒黄銅鉱集合体．表面こげ茶に酸化．	黄銅鉱
37	14-241	石英		9*4*6	珪化した母岩のまわりに生成．やや白色．直径0.2～0.8 cm, 長さ1.0～1.5 cm．	長石
38	14-222	重晶石		12*8*4	安山岩母岩（1 cm厚）→石英層（3 mm）→細粒石英（長さ3～4 mm）集合体．黒くサビた黄銅鉱などが付着．重晶石、ハナブサ状（板状結晶）集合が存在．	重晶石
39	14-228	黄銅鉱		9*6*3	母岩1.5 cm厚→石英5 mm厚→直径5～10 mmの黄銅鉱．	黄銅鉱
40	14-302	黄鉄鉱	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山	11*7*5	安山岩母岩→黄鉄鉱．裏側、石英・方解石．	黄鉄鉱
41	14-312	藍銅鉱	南洋	4*4*3	空隙に放射状に成長．塊状．細粒石英集合体が中央の空隙に生成．	藍銅鉱
42	14-260	赤鉄鉱		7*6*3	赤鉄鉱の集合体．くぼみに孔雀石（やや淡い緑）？胆礬？細粒石英の集合体伴う．	赤鉄鉱
43	14-138	閃亜鉛鉱・黄銅鉱	栃木県日光市足尾鉱山の可能性あり	7*4*3	1 cm厚の板状に黄銅鉱→方鉛鉱少し．閃亜鉛鉱は黒色．	閃亜鉛鉱
44a	14-169	銀鉱石	秋田県北秋田市阿仁鉱山稻荷坑	10*9*8	全体が石英集合体．空洞あり．赤鉄鉱（風化してサビ色）．石英集合中に網目状で幅1～2 mmの黒色帯あり．閃亜鉛鉱あり？	銀鉱石

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
44b	14-169	金銀鉱石	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	11*12*7	全体が石英集合体。空洞あり。赤鉄鉱（風化してサビ色）。石英集合中に網目状で幅1～2mmの黒色帯あり。閃亜鉛鉱あり？	銀鉱石
45	14-320	菱マンガン鉱	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山	14*9*5	コロフォーム状、縞状。厚さ5cm。白-淡桃→濃桃-白。表面が白濁、細粒マンガン鉱が覆う。	マンガン鉱
46	14-163	黄銅鉱・石英	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	11*6*3	母岩→黄銅鉱（直径2～3mm）→針状の石英が房状。閃亜鉛鉱の細い粒子あり。氷長石なし。	氷長石
47	14-230	赤鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	5*4*1.5	母岩表面に石英（直径5～3mm）群晶。石英はさび色コーティングされている。	自然銅
48	14-251	黄銅鉱		6*5*4	母岩の上に石英（直径1～2mm・長さ3mm）→間に黒色黄銅鉱→黄銅鉱（直径2～3mm）。表面を細粒の石英、板状の細粒重晶石が覆う。	斑銅鉱
49-1	14-245	銅二次鉱物		5*4*1.5	下バンにたまった銅を含むアモルファス物質？	鶏冠石
49-2	14-245	銅二次鉱物		2*4*1.5	下バンにたまった銅を含むアモルファス物質？	鶏冠石
50	14-208	擬孔雀石・孔雀石		10*8*6	母岩表面に擬孔雀石、孔雀石の薄い皮膜。割れ目の表面に孔雀と石英。本体は重く赤茶色だが詳細。	赤銅鉱
51-1	11-199	アメシスト	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*4*3	淡い紫、短柱状群晶。	六方石
51-2	11-199	アメシスト	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	7*5*2	淡い紫、短柱状群晶。	六方石
52	10-313	孔雀石・藍銅鉱・赤銅鉱	アフリカ・ザイール	9.5*5.5*7	褐鉄鉱あり。表層部分が地下水に溶解して再沈殿したもの？	藍銅鉱
53	10-214	プロシャン銅鉱	阿仁産？	23*11*10.5	母岩（黄銅鉱の塊）の空隙にプロシャン銅鉱が生成。針状結晶。黄銅鉱が風化する過程で生じた銅に富む地下水から生成した鉱物。	緑青鉱石
54	10-263	銅鉱石		21*11*17	地表付近で二次富化。黄銅鉱一部輝銅鉱化。	黄銅鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
55	10-267	黄銅鉱		17*11*13	孔雀石, 擬孔雀石の被膜状が付着. 母岩の割れ目, ガマに石英成長. その上に付着.	黄銅鉱
56	10-264	黄銅鉱		17*12*7	表面が薄く輝銅鉱化. 表面を石英が覆う.	黄銅鉱
57	10-268	二次富化銅鉱		25*12*10	黄銅鉱だが, かなり輝銅鉱が多い.	黄銅鉱
58	10-265	二次富化銅鉱		18*12*9	黄銅鉱, 輝銅鉱化しているもの多し.	黄銅鉱
59	11-216	プロシャン銅鉱		18*12*10	母岩が黄銅鉱. その上にプロシャン銅鉱が二次晶出.	緑青鉱石
60	10-212	銅鉛鉱石		22*15*12	銅鉛鉱石(黄銅鉱, 方鉛鉱). 氷長石を伴う.	黄銅鉱
61	9-136	閃亜鉛鉱		4.5*4.5*4.5	表面は黒色だが中はべっこう色? 黄銅鉱と氷長石を伴う.	閃亜鉛鉱
62		黄銅鉱	栃木県日光市足尾鉱山の可能性あり	8.5*6*2.5	直径2 mmの群晶.	
63	9-192	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5.5*4.5*3	黄銅鉱, 比較的小さい結晶集合. 直径0.5 mm±.	黄銅鉱
64	9-203	二次富化銅鉱		11.5*7*7	もとは黄銅鉱. 二次富化物で, 輝銅鉱や斑銅鉱に一部置換. 微小針状石英を伴う.	斑銅鉱
65	9-193	二次富化銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	6.5*6.5*5	二次富化して斑銅鉱, 輝銅鉱化.	黄銅鉱
66	9-357	方鉛鉱・黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	6*4.5*2.5	黄銅鉱の上に直径0.2~0.3 cmの方鉛鉱が晶出.	方鉛鉱
67	9-185	黄銅鉱・輝銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	7.5*6*5	大部分, 表面が輝銅鉱化して黒い. 直径1~3 cm. 良品.	黄銅鉱
68	9-197	硫砒鉄鉱・黄銅鉱	稲荷坑とあるが, 足尾鉱山の可能性あり	6.5*4*3.5	硫砒鉄鉱は裏側, 黄銅鉱は丸みを帯びる→足尾産の特徴. 石英を伴う.	黄銅
69	9-204	黄銅鉱		10*8*3.5	礫状の母岩のまわりに成長. 小型石英が伴う.	黄銅鉱
70	9-213	二次富化銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山盤座上十二坑	12.5*10*5	輝銅鉱化が進行した鉱石.	黄銅鉱
71	9-244	黄銅鉱		12.5*9*5	表面輝銅鉱化.	黄銅鉱
72	9-349	黄銅鉱・斑銅鉱・黄錫鉱	兵庫県養父市大屋町明延鉱山	13*10*3.5	塊状. 斑銅鉱を伴う.	黄銅鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
73	9-168	白鉄鉱・方鉛鉱・黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	13*7.5*9	外から黄銅鉱→方鉛鉱→白鉄鉱（腎臓状）の層状、氷長石を伴う。	黄銅鉱
74	9-89	銅鉱石	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	23.5*14*14.5	黄銅鉱、微小な石英を伴う。	黄銅鉱
75		黄銅鉱	栃木県日光市足尾鉱山の可能性あり	24*13*9	塊状、樹枝状に成長。	
76	9-90	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	25*23*10	Φ2 cm±の黄銅鉱のまわりを覆って黄鉄鉱、その上に石英が覆う。方解石が溶脱した組織あり。	黄銅鉱
77	9-207	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑14号鍾南向	18*15*10	鉱脈の内側に突出した母岩の両側に成長。氷長石（～Φ0.2 mm）を伴う。	黄銅鉱
78	15-254	二次富化黄銅鉱・プロシャン銅鉱		5.5*5*4	二次富化。	斑銅鉱
79	15-252	二次富化黄銅鉱・斑銅鉱		7.5*4*3.5	二次富化。	斑銅鉱
80	15-135	閃亜鉛鉱		6.5*4.5*2.5	べっこう亜鉛、一部結晶面、他はへき開面。	閃亜鉛鉱
81	15-235	黄銅鉱		6.5*6*4.5	結晶表面は輝銅鉱化。	黄銅鉱
82	15-200	黄銅鉱・硫砒鉄鉱	稲荷坑とあるが、足尾鉱山の可能性あり	6.5*3.5*3.5	黄銅鉱丸っこい形状。	黄銅
83	15-133	閃亜鉛鉱・方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山	7.5*6.5*5.0	黄銅鉱の内側のガンマに閃亜鉛鉱（丸っこいべっこう色）微小な方鉛鉱あり。	閃亜鉛鉱
84	15-246	黄銅鉱・閃亜鉛鉱	栃木県日光市足尾鉱山の可能性あり	6*4.5*1.5	黄銅鉱の表面に六角板状閃亜鉛鉱多数。	黄銅鉱
85a	15-147	閃亜鉛鉱・黄銅鉱		6.5*5.5*4	閃亜鉛鉱結晶、一部黄銅鉱含む。	閃亜鉛鉱
85b	15-147	閃亜鉛鉱・黄銅鉱		5.5*4.5*3.5	閃亜鉛鉱結晶、一部黄銅鉱含む。	閃亜鉛鉱
85c	15-147	閃亜鉛鉱・黄銅鉱		4.0*3.5*3.0	閃亜鉛鉱結晶、一部黄銅鉱含む。	閃亜鉛鉱
86	15-129	氷長石・閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	8*6.5*6	閃亜鉛鉱（Φ2 cm）、丸っこい。	閃亜鉛鉱
87	15-141	方解石・黄銅鉱・閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	9*7*3	石英なし。	閃亜鉛鉱
88	15-145	閃亜鉛鉱・方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	9*5*3	微小水晶状に成長。閃亜鉛鉱（Φ2～3 cm）、方鉛鉱（Φ0.5～1 cm）。	閃亜鉛鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
89a	15-258	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	5*3.5*3	表面変色.	黄銅鉱
89b	15-258	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	4*2.5*2.5	表面変色.	黄銅鉱
90	15-226	黄銅鉱・石英	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	5*3*3	石英が表面覆う.	黄鉄鉱
91	15-227	黄銅鉱・孔雀石		6*6*3.5	黄銅鉱巨晶, 表面に孔雀石伴う.	黄鉄鉱
92		黄銅鉱・重晶石		8.5*6*4.5	黄銅鉱とその表面に重晶石.	
93	15-91	銀鉱石	秋田県湯沢市院内鉱山	30*15.5*3	黄鉄鉱・閃亜鉛鉱・方鉛鉱・濃紅銀鉱・石英・イネス石.	銀鉱石
94	15-146	閃亜鉛鉱		6*5.5*5	閃亜鉛鉱巨晶, べっこうではない.	閃亜鉛鉱
95	15-369	閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	11*10*5	母岩部分が石英・黄鉄鉱・黄銅鉱.	方鉛鉱
96	15-364	方鉛鉱・閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	7*6*6	方鉛鉱+閃亜鉛鉱(Φ2~3 cm), 下地が黄銅鉱, 閃亜鉛鉱はべっこう亜鉛.	方鉛鉱
97	16-140	閃亜鉛鉱		10*8.5*5	閃亜鉛鉱+下地に黄銅鉱を伴う.	閃亜鉛鉱
98	15-144	閃亜鉛鉱		11*6.5*6.5	下地に黄銅鉱と石英.	閃亜鉛鉱
99	15-142	閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	9*6*5.5	丸っこい形状, Φ1 cm.	閃亜鉛鉱
100	15-216	黄銅鉱		11*10*9	黄銅鉱が半球状に成長, 黄鉄鉱伴う, 内側に閃亜鉛鉱あり, 微小石英伴う.	緑青鉱石
101	10-212-1	鉄礬石榴石	長野県小県郡和田村和田峠と考えられる	7*4*6	流紋岩質母岩.	黄銅鉱
102	15-19	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁萱草鉱山	26*17*12	黄銅鉱大~巨晶集合体(Φ3~4 cm).	黄鉄鉱
103		閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	20*17*6	閃亜鉛鉱(Φ3 cm)+氷長石, 表面に微細な黄銅鉱晶出.	
104	15-370	鉛鉱石	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	11*7.5*6	脈の内側がほぼ方鉛鉱, 塊状.	方鉛鉱
105	なし(142)	黄銅鉱・閃亜鉛鉱・方鉛鉱		20*11*11		
106	8-139	黄銅鉱・閃亜鉛鉱		8*5.5*3	黄銅鉱・閃亜鉛鉱(Φ1 cm)+氷長石・石英伴う.	閃亜鉛鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
107	8-128	黄銅鉱・閃亜鉛鉱		9.5*9*2.5	閃亜鉛鉱（Φ1～2 cm）.	閃亜鉛鉱
108	8-257	黄銅鉱	栃木県日光市足尾鉱山の可能性あり	8*6*2.5	黄銅鉱（Φ0.5 cm）は丸みを帯びる.	黄銅鉱
109	8-378	塊状黄銅鉱	秋田県大仙市協和荒川鉱山	7.5*6.5*3.0		黄銅鉱
110	8-233	黄銅鉱・コペリン		7*5*4.5	黄銅鉱自形（Φ2 cm）裏側にコペリン皮膜.	黄銅鉱
111	8-210	自然銅・赤銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑と考えられる	1.8*10*1.5	非常に重量感あり.	自然銅
112	8-237	黄銅鉱・黄鉄鉱		12*7*7	石英ともなう.	黄銅鉱
113	9-89-1	黄銅鉱・閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	8*6*2.5	状態良好，黄銅鉱+閃亜鉛鉱（べっこう），小型石英と氷長石少しを伴う.	黄銅鉱
114	8-250	黄銅鉱・斑銅鉱		(1)5.5*4*2.5 (2)4*5*3	2ヶ. 黄銅鉱方面変色，部分的に斑銅鉱化.	斑銅鉱
115	8-236	黄銅鉱・閃亜鉛鉱	栃木県日光市足尾鉱山の可能性あり	5*4.5*4	母岩はチャート.	黄銅鉱
116	8-232	自然銅	秋田県北秋田市阿仁鉱山と考えられる	5.5*4.5*3.0	天然産だろう.	自然銅
117	8-259	沈殿銅		11.5*5.0*1.0		沈殿銅
118	8-348	黄銅鉱・黄鉄鉱・輝蒼鉛鉱	秋田県鷹巣町揚ノ沢	11*10*4.5	粉ふき.	ビスマス・黄銅鉱
119	8-256	黄銅鉱		18*13*11	母岩は緑泥石+黄銅鉱+黄鉄鉱+石英.	黄銅鉱
120	8-274	黄銅鉱・黄鉄鉱		18.5*11*7.5	良品，緑泥石，細柱の石英が薄く覆う。ほぼ同時か.	黄銅鉱
121		自然銅		(1)0.5*0.3*0.1 (2)0.8*0.4*0.1	木箱入り30個±.	
122	8-205	黄銅鉱・黄鉄鉱		26*22*8	黄銅鉱の表面は孔雀石化，母岩は黄鉄鉱+緑泥石.	松葉緑青鉱
123	8-215	銅鉱石		33*15*11	塊状黄銅鉱.	黄銅鉱
124	8-182	銅鉱石見本	秋田県北秋田市阿仁	9.5*2.5*1.5	紙包，スミ書きあり.	銅鉱見本

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
125	8-189	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	16.5*14*6.5	塊状および結晶 (Φ1~2 cm) .	黄銅鉱
126		氷長石-閃亜鉛鉱		10*6*4.5	氷長石 (短柱状, 最大5 mm) , 閃亜鉛鉱, 方鉛鉱 (3~5 mm) も多い.	
127	16-143	閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑と考えられる	6.5*5.5*3.5	自形結晶 (5~20 mm) .	閃亜鉛鉱
128	16-363	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	12*8*5	自形結晶, 最大1 cm (石英+氷長石+粘土 鉱物) .	方鉛鉱
129	16-131	閃亜鉛鉱		5*4*3	自形結晶, あめ茶色.	閃亜鉛鉱
130	16-365	方鉛鉱・閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	7*5*3	方鉛鉱 (最大1.5 cm) , 閃亜鉛鉱小粒結晶 が方鉛鉱の隙間を埋める, ヒビあり.	方鉛鉱
131	16-367	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	7*4*3.5	方鉛鉱 (最大1.2 cm) + 黄銅鉱+表面を石 英が覆う.	方鉛鉱
132	16-368	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	8*5*3	方鉛鉱の骸晶, 閃亜鉛鉱伴う.	方鉛鉱
133		赤鉄鉱	岩手県和賀郡和賀町仙人鉱山の可能性 あり	6*5*3	自形赤鉄鉱+石英.	赤鉄鉱
134	16-356	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	13*6*8	方鉛鉱 (2~3 cm) .	方鉛鉱
135	16-362	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	10*7.5*6	へき開面発達 石英が間をうめる.	方鉛鉱
136	16-134	閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑と考えられる	11*5*8	石英表面に閃亜鉛鉱-黄銅鉱, 氷長石が付 着, 石英脈の晶洞面に自形結晶が付着.	閃亜鉛鉱
137	16-374	鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑と考えられる	11*12*8	黄銅鉱の壁に方鉛鉱の自形が発達, 方鉛鉱 最大2 cm. 骸晶もあり.	鉛鉱
138	16-158	白鉄鉱		12*8*2.5	閃亜鉛鉱の下地に2~5 mm球~ぶどう状に 付着, 閃亜鉛鉄に富む.	白鉄鉱
139	16-160	白鉄鉱		10*8*6	下地の黄銅鉱の上の方鉛鉱が付着, さらに 白鉄鉱が付着.	白鉄鉱
140	16-240	黄銅鉱		5.5*4*2.5	緑泥石+石英の表面に1 mmサイズの黄銅鉱 結晶が付着.	黄銅鉱
141	16-161	白鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*7*1.5	ぶどう状につらなる小粒自形結晶, 晶洞か ら剥離?	白鉄鉱

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
142	16-157	白鉄鉱		7.5*4*4	緑泥石変質した安山岩質凝灰岩母岩の表面にぶどう状に付着，一部に黄銅鉱あり，泥岩礫包有されている。	白鉄鉱
143	16-155	白鉄鉱		10*6.5*5	黄銅鉱-石英-重晶石の母岩に白鉄鉱の集合体付着。	白鉄鉱
144	16-366	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	14*9*8	自形結晶発達，1 cmサイズ 黄銅鉱と共存。	方鉛鉱
145	16-373	鉛鉱銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	23*14*7	下地は黒色化した黄銅鉱でガマ表面に方鉛鉱（最大7 mm）が付着。	鉛鉱
146	16-360	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	12*9*5	下地の石英の薄い膜状部に黄銅鉱がつらなる。さらにその上方鉛鉱（最大7 mm）の自形結晶が集合。	方鉛鉱
147	16-46	石英	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	20*15*7	下地の緑泥石上に黄鉄鉱さらに黄銅鉱の上に赤鉄鉱+黄銅鉱 さらに石英 + 緑泥石。	石英
148		閃亜鉛鉱・石英		24*12*10	一部黄銅鉱。 緑泥石-閃亜鉛鉱-黄鉄鉱-石英+粘土鉱物が母岩を形成。	
149	16-309	白鉄鉱	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山	20*12*6	下地は石英-黄鉄鉱+粘土鉱物。 母岩に薄く石英層がありさらに白鉄鉱が付着。	白鉄鉱
150	7-162	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	11*8*9	五角十二面体（最大1.5 cm）。 少量の黄銅鉱と共生。	黄鉄鉱
151	7-165	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*4*5	No.150の上ののる黄鉄鉱結晶（足尾産か？）。 最大Φ1.5 cm。	黄鉄鉱
152		石英		16*6*5	母岩下地は変質凝灰岩。 黄鉄鉱-閃亜鉛鉱晶出。 その上に約1 cmの結晶。	石英
153	7-174	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	6*5*4	自形1~2 cmサイズ。 三角二十面体の結晶の集合体。	黄鉄鉱
154	7-167	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	11*7*4	黄鉄鉱の三角二十面体結晶の集合体と晶洞に向けて石英（Φ5 mm*1 cm）が数個成長。	黄鉄鉱
155-1	7-152	黄鉄鉱		7*5.5*3	5~8 mmサイズの五角十二面体結晶の集合。	黄鉄鉱
155-2	7-152	黄鉄鉱		4*4*1.5	黄銅鉱-黄鉄鉱の集合体上に重晶石の板状結晶集合体が成長。 塊状。	黄鉄鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
156	7-150	黄鉄鉱		9*6*3	黄鉄鉱の結晶 (0.5~1.5 cm) の集合に少量の石英を伴う.	黄鉄鉱
157	7-177	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	8*6*4	2~3 mm中の石英脈上に自形黄鉄鉱 (五角十二面体1~4 cm) .	黄鉄鉱
158	7-170	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*4*3	黄鉄鉱 (Φ5 mm~15 mm) 集合体+少量の石英.	黄鉄鉱
159	7-153	黄鉄鉱		10*6*4	ガマ晶出の立方体黄鉄鉱 (最大1 cm) -針状石英結晶 (3~5 mm長) 集合体.	黄鉄鉱
160	7-180	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	(1)4*3*2.5 (2)2*1.5*1.2	2ヶ. 五角十二面体単結晶と三角二十面体結晶.	黄鉄鉱
161		石英		7*7*6	安山岩質凝灰岩母岩.盤際に赤鉄鉱+緑泥石. 石英結晶 (5~10 mm長) 集合体.	
162	7-299	黄鉄鉱	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山	13*10*8	下地石英, 隙間に少量の黄銅鉱. ガマに自形黄鉄鉱 (立方体-五角十二面体; 5~15 mm) .	黄鉄鉱
163	7-187	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	13*8*4	石英-黄銅鉱の脈の表面に氷長石の巨晶+石英, 黄鉄鉱, 黄銅鉱の集合体が晶出.	黄銅鉱
164	7-211	閃亜鉛鉱		(1)4*2*1.5 (2)4*2*2	2ヶ. 表面赤黒色のサビ.	斑銅鉱
165		黄鉄鉱		(1)13*9*7 (2)11*9*7	2ヶ. ガマ晶出自形黄鉄鉱結晶集合体. 硫化鉄鉱 (1~1.5 cm) .	黄鉄鉱
166	7-186	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	6*5.5*2.5	表面に赤銅色のサビ. 孔雀石, 褐鉄鉱付着.	黄銅鉱
167	7-159	黄鉄鉱		6*4*2	下地は石英+黄鉄鉱集合体の上に自形三角二十面体黄鉄鉱結晶が晶出. Φ5~12 mm.	黄鉄鉱
168	7-308	黄鉄鉱		17*12*12	五角十二面体巨晶黄鉄鉱Φ2~15 cm, 少量のWz集合体が付着.	黄鉄鉱
169	7-300	黄鉄鉱	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山	17*10*7	下地は変質安山岩のガマに石英と黄鉄鉱 (最大Φ1 cm) が晶出.	黄鉄鉱
170	12-377	石英	秋田県大仙市協和荒川鉱山と考えられる	18*11*6	下地は安山岩質凝灰岩石英柱状結晶 (Φ5~8 mm) の集合体. 表面に褐鉄鉱.	六方石

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
171	12-346	硫黄	秋田県仙北市玉川温泉	15*11*3	変質（白色）安山岩、下地に硫黄結晶（3～5 mmサイズ）がガマ状に晶出。	硫黄
172	12-68	石英	福島県福島市飯坂町烏川鉱山	16*11*5	主にばら石英、2～3 mmの白濁した石英。	紅石英
173	12-351	黒曜石	北海道	12*12*9	全体黒色、1 mm中の白色部、1～3 cm幅に入っている。白い斑点あり。	黒曜石
174	12-318	水晶		15*4*6	透明、六角柱状結晶、平行連晶、 $\Phi 2*6$ cm, $\Phi 3*15$ cm.	水晶
175	12-330	水晶	日本	12*10*6	透明、六角柱状結晶、（ $\Phi 4 *8$ cm長）。	水晶
176	12-206	水晶		13*12*6.5	歪んだ柱状結晶、やや半透明。	水晶
177	12-74	白雲母	茨城県北茨城市華川町花園溪谷	19*12*4	板状結晶、湾曲している。	白雲母
178	12-321	銅錫鉱石	栃木県日光市足尾鉱山	13*12*10	灰白色の石英脈中に黄銅鉱-黄錫鉱晶出、褐錫鉱もあり。	方解石
179	12-82	硬石膏	川田鉱山	18*17*12	やや透明の巨晶集合体。	硬石膏
180	12-324	紫水晶	ブラジル	15*14*10	下地は安山岩、幅1～2 cmの白色石英、その表面に成長。	紫水晶
181	12-66	螢石		17*14*11	淡緑色～白色、割れ目に沿って白濁している。	螢石
182	12-352	黒曜石	長野県	40*13*6	ガラス状断口顕著。	黒曜石
184		黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	65*44*40	変質安山岩母岩、割れ目に2～3 mmの石英細脈、大きな割れ目にガマ状に五角十二面体、黄鉄鉱-緑泥石 $\Phi 1\sim 2$ cm.	黄鉄鉱
185		黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	50*37*28	母岩は安山岩、緑泥石-黄銅鉱-黄鉄鉱が晶洞に晶出、黄鉄鉱五角十二面体（ $\Phi 1\sim 2$ cm）。	黄鉄鉱
186	1-29	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁小沢鉱山長松坑	50*42*15	自形 $\Phi 1\sim 2$ cmの黄鉄鉱、三角二十面体黄鉄鉱が厚く晶出、最後に石英-黄銅鉱-緑泥石が析出。	黄鉄鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
187	1-5	ゲーサイト鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山本番坑	85*33*23	褐鉄鉱+少量の石英結晶, 黄褐色の縞状沈殿物. 石英脈の大型ガマ状に低温下で層状に成長.	鉄石英 (ジャスパール)
189		金鉱石	秋田県北秋田市阿仁鉱山高平	21*16*12	褐鉄鉱 (もと赤鉄鉱) -石英, 一部に緑鉛鉱, 縞状. その他5個の標本.	金鉱石
190		黄銅鉱		50*25*20	群晶, 黄鉄鉱を含む, 表面やや風化.	黄銅鉱
191		黄銅鉱		40*35*15	黄銅鉱群晶, 氷長石, 方鉛鉱を少し伴う, 裏面半分くらいにも, 黄銅鉱結晶.	
192		黄銅鉱		37*22*23	塊状に近い銅鉱石, 脈なし.	黄銅鉱
193	7-172	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	10*7*6	Φ0.5~1 cmの五角十二面体結晶からなる集合体.	黄鉄鉱
194	17-1	方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山二ノ又坑	23*21*9	石英母岩上氷長石と方鉛鉱結晶.	方鉛鉱
195		黄鉄鉱		10*9*8	緑がかった水晶と緑泥石を少し含む, 五角十二面体の黄鉄鉱 (Φ0.5~2 cm) .	
196	8-190	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	9*7*5	緑泥石化した母岩表面に黄銅鉱 (Φ1 cm ±) 群晶.	黄銅鉱
197		黄鉄鉱		33*16*12	母岩上に石英-六面体黄鉄鉱 (最大Φ2.5 cmの) と黄銅鉱がついている.	
198	7-183	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	9*3*5	特殊形の黄鉄鉱 (Φ0.5~1 cm) 群晶.	黄鉄鉱
199		黄銅鉱・閃亜鉛鉱		21*22*6	黄銅鉱群晶, 5 mm ±の閃亜鉛鉱を伴う, 表面やや風化.	
200	9-196	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	9*3*5	表面が輝銅鉱化した群晶.	黄銅
201		黄銅鉱		7*2*5	緑泥石+黄銅鉱 (非良品) .	
202		黄鉄鉱		20*17*12	緑泥石中に黄鉄鉱 (~1 cm) を大量に含む, 少量の黄銅鉱を伴う.	白鉄鉱
203		黄銅鉱		43*39*9	全体が黄銅鉱結晶, 晶洞部も黄銅鉱 (Φ2 cm ±), 割れ欠け少なく風化なし. 良品. 三角銅有り.	黄銅鉱

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
204		黄銅鉱		31*23*13	石英の母岩上に(Φ1~2 cm)黄銅鉱群晶.	黄銅鉱
205		黄鉄鉱		21*17*13	角礫化母岩上に石英と黄銅鉱晶出.	黄鉄鉱
206		黄銅鉱		13*8*12	黄銅鉱群晶中に細い石英が晶出, 表面は輝銅鉱+孔雀石を伴っている.	黄銅鉱
207		輝銅鉱		18*7*14	塊状黄銅鉱に緑泥石, 黄銅鉱, 石英が晶出, 黄銅鉱は二次富化して輝銅鉱. 紫灰はく.	紫灰はく
208		黄銅鉱・閃亜鉛鉱・方鉛鉱		50*18*28	層状, 空隙に富む石英質母岩. 方鉛鉱・黄銅鉱の結晶(ともにΦ2~3 cm)が晶出. 黄銅鉱に三角銅あり.	亜鉛鉱・方鉛鉱・黄銅鉱
209		黄銅鉱		23*19*15	黄銅鉱, 緑泥石からなる母岩上の黄鉄鉱+もっている黄銅鉱群晶(全体に輝銅鉱化している).	黄銅鉱
210		黄銅鉱		28*18*4	大:黄銅鉱群晶の表面は孔雀石化, 小:黄銅鉱塊状.	黄銅鉱
211		水晶		23*18*5	Φ1~1.5 cmの水晶群晶, Φ1 cm±の黄鉄鉱結晶を伴う. 少量の黄銅鉱, 閃亜鉛鉱を伴う.	水晶
212		ジャスパー		23*13*8	二次富化でできた褐鉄鉱塊状. 割れ目に孔雀石生成.	ジャスパー
213		黄銅鉱		18*9*9	礫化母岩表面ほぼ全体微細石英が覆う. 石英上に2~3 mmから10 mmの黄銅鉱群晶生成.	黄銅鉱
214		黄鉄鉱		21*35*11	209と同様, 黄銅鉱は輝銅鉱化.	黄鉄鉱
215		黄鉄鉱・方解石		25*13*4	黄鉄鉱+石英群晶.	黄鉄鉱・方解石
216		黄銅鉱		42*18*7	石英+赤鉄鉱上に黄銅鉱が輝銅鉱化. 石英が赤鉄鉱を包有し赤水晶化.	黄銅鉱
217		氷長石		43*32*13	氷長石脈, 1~2 cm板状の群晶.	氷長石
218		黄銅鉱		20*17*7	黄銅鉱の表面が輝銅鉱化.	黄銅鉱

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
219		黄銅鉱		35*20*12	全体が黄銅鉱、少量の黄鉄鉱を伴う銅鉱石。	黄銅鉱
220		鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山引割坑	32*23*10	晶洞中の方鉛鉱+黄銅鉱、結晶サイズΦ2~2.5 cm、割れ欠け少ない、表面の風化（硫酸塩化）が少ない良品。	鉛鉱
221		水晶・黄鉄鉱	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山の可能性あり	15*26*10	石英、黄鉄鉱、閃亜鉛鉱群晶、裏面に薄く菱マンガン鉱晶出。	水晶・黄鉄鉱
222		黄鉄鉱		33*35*7	黄鉄鉱+石英群晶、黄鉄鉱は正八面体角落ちと正十二面体結晶、Φ0.5~2 cm、良品。	黄鉄鉱
223		黄銅鉱・氷長石		27*15*12	黄銅鉱群晶表面に氷長石が群晶としてついている。氷長石はややピンクがかっている（赤鉄鉱か）。	
224		黄銅鉱		(1)10*6*9 (2)11*6*9 (3)15*3*9 (4)9*7*5	4ヶ、すべて黄銅鉱群晶、Φ1~1.5 cm、うち一つは黄銅鉱群晶の同一結晶面が平面を形成しその上に閃亜鉛鉱の単結晶Φ2 cm付着。	黄銅鉱
225		方鉛鉱・閃亜鉛鉱		32*28*12	閃亜鉛鉱と方鉛鉱群晶、脈の奥側から黄銅鉱4~5 cm厚、表面2 cmは閃亜鉛鉱・方鉛鉱Φ1.5~2 cm 群晶。	方鉛鉱・亜鉛鉱
226		亜鉛鉱		49*41*12	べっこう亜鉛、閃亜鉛鉱の群晶（~Φ3 cm）、方鉛鉱伴う、閃亜鉛鉱表面一部重晶石が生成、裏面も結晶、良品。	亜鉛鉱
227		黄銅鉱		39*35*6	表面風化した黄銅鉱群晶Φ1~2 cm、銅の風化物、薄緑が付着。	
228	17-16	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	37*28*20	細粒緑泥石+石英母岩、黄鉄鉱（五角十二面体Φ1~2 cm）が同時期に生成。	黄鉄鉱
229		菱マンガン鉱		31*39*10	腎臓状菱マンガン鉱（母岩は閃亜鉛鉱+方鉛鉱+黄銅鉱）。	さくらマンガン鉱
230		黄銅鉱・黄鉄鉱・石英		25*12*21	黄鉄鉱+黄銅鉱+石英の群晶、表面に1 mmの黄銅鉱結晶付着、表面に変質して油膜状変色。	黄銅鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
231	17-102	黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	31*17*12	角礫状母岩に微細石英+黄銅鉱が晶出.	黄銅鉱
232	17-4	銅鉱石	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	27*21*9	黄銅鉱を主とする部分.	黄銅鉱
233		氷長石		24*11*4	緑泥石化した角礫化母岩を微細な石英と氷長石が覆う, 方解石の可能性大.	氷長石
234		方鉛鉱・黄銅鉱		40*31*13	220の方鉛鉱とほぼ同じ方鉛鉱(Φ2 cm)+黄銅鉱(Φ0.5~1 cm). 良品.	
235		黄銅鉱		33*24*12	銅鉱石, 状態悪く結晶が瞭, 赤鉄鉱と石英を少量伴う.	黄銅鉱
236		銅鉱石		20*9*16	銅鉱石, 黄銅鉱が一部輝銅鉱化, 表面に赤鉄鉱と細粒石英.	黄鉄鉱
237		黄銅鉱		23*18*7	黄銅鉱結晶+細粒石英.	ラベルなし
238		銅鉱石		31*13*16	緑泥石, 石英, 赤鉄鉱, 黄銅鉱, 黄鉄鉱が混在.	黄銅鉱
239		鉛鉱石		27*17*15	閃緑岩礫の母岩, ガマ内側はアメジスト.	方鉛鉱
240		鉛鉱石		(1)22*11*17 (2)23*15*16	方鉛鉱含有量高い, 鉛鉱脈アメジスト晶洞複数あり.	
241		黄鉄鉱・黄銅鉱		31*15*21	黄鉄鉱(六面体Φ1~2 cm)が多い, 黄銅鉱は削れ落ち, 石英を伴う.	黄銅鉱
242		黄鉄鉱		40*20*14	228に類似.	黄鉄鉱
243		黄銅鉱		29*29*10	黄銅鉱(Φ1.5 cm)群晶, 風化して全体にいたみあり.	黄銅鉱
244		黄銅鉱・赤鉄鉱		24*17*15	黄銅鉱+赤鉄鉱, 角礫状になった銅鉱石母岩一部孔雀石を伴う.	黄銅鉱・赤鉄鉱
245		金鉱石		19*9*14	赤鉄鉱を主とする. 緑泥石が風化.	金鉱石
246		黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山大正坑	21*14*18	熱水角礫状母岩に黄鉄鉱が鉱染したもの, 黄銅鉱・方鉛鉱ほとんどなし.	方鉛鉱・黄銅鉱
247		黄鉄鉱・黄銅鉱			黄鉄鉱・黄銅鉱の鉱石, 閃亜鉛鉱・方鉛鉱・石英を含む.	黄銅鉱・方鉛鉱
248-1		黄鉄鉱, 黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*4*3	Φ0.5~1 cm.	黄鉄鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
248-2		黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*6*4	正二十面体.	黄鉄鉱
248-3		黄銅鉱	栃木県日光市足尾鉱山の可能性あり	4*4*3	まるっこい.	黄鉄鉱
248-4		黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	6*6*4	表面は輝銅鉱化.	黄鉄鉱
248-5		黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*4*3		黄鉄鉱
248-6		黄鉄鉱		10*10*4	五角十二面体.	黄鉄鉱
248-7		金銀鉱石		12*10*4		黄鉄鉱
248-8		黄鉄鉱・黄銅鉱・鉄緑泥石		7*7*3		黄鉄鉱
248-9		黄銅鉱		13*10*6	表面は輝銅鉱化. 石英細粒多結晶.	黄鉄鉱
249	9-201	赤銅鉱・孔雀石		7*5*3	自然銅樹枝状成長したものの表面に生成.	緑青鉱石
250		方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*3*3	塊状方鉛鉱, へき開面あり.	方鉛鉱
251	7-248	黄銅鉱		5*3*3	巨晶 (Φ~4 cm) に複数の結晶が付着.	黄銅鉱
252	7-178	黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	5*4*4	正十二面体Φ0.5~1 cm.	黄鉄鉱
253	7-176	石英・黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山稲荷坑	4*4*3	石英, 黄鉄鉱, 少量の黄銅鉱.	石英・黄鉄鉱
254	7-219	石英		8*5*5	253と類似.	六方石
255	7-249	石英		12*8*5	石英 (Φ0.2 cm, 長さ0.5 cm), 内側は緑泥石・赤鉄鉱.	六方石
256		方鉛鉱・重晶石	秋田県北秋田市阿仁鉱山二ノ又坑	5*4*4	閃亜鉛鉱 (Φ1.5~2 cm) 群晶. 良品.	方鉛鉱・重晶石
257		黄銅鉱		3*3*2	カットした人工平面.	黄銅鉱
258		方鉛鉱・氷長石		4*3*2	閃亜鉛鉱なし.	亜鉛鉱
259		黄鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁小沢鉱山長松坑	2*3*2	五角十二面体.	黄鉄鉱
260		輝銅鉱		4*4*4	初生輝銅鉱か. 表面に細粒黄銅鉱.	輝銅鉱

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
261		孔雀石		7*4*3	孔雀石からなる鉱石。針状結晶が発達した質の良い孔雀石で、質に関しては国産標本の中でも最高級品。(科博の桜井標本にさらに大きいものがある)。	緑青鉱
262		白鉄鉱			母岩黄銅鉱、表面は白鉄鉱+石英。	
263		珪孔雀石			黄銅鉱が溶け珪孔雀石化。ピッチオア状。	緑青石
264		銀鉱				
265		黄鉄鉱		4*3*1	皮膜状黄鉄鉱。白鉄鉱に近い?	黄鉄鉱
266		重晶石		4*3*3	石英上に重晶石。	重晶石
267		石英		5*4*3	方解石なし。	方解石
268	大型	塊状銅鉱石		44*42*29	全体塊状、ガマ部分内側表面は黄銅鉱(Φ1 cm±)の群晶、少量の石英(長さ5 mm)伴う、母岩は安山岩(Φ3~5 cm)を含む。	黄銅鉱
A1		黄銅鉱		18*12*5	黒色に変色した1~2 cmの自形黄銅鉱、5~6 cmのあつまりを形成、その間に板状の重晶石(3~7 mmサイズ)がとりかこむ。	黄銅鉱
A2		黄銅鉱		14*12*6	黄褐色~黒色にサビた表面1~2 cm自形結晶。	黄銅鉱
A3		黄銅鉱		8*8*5	黄銅鉱のかたまり、1~2 cmサイズ(表面黒色化)(結晶の隙間に淡い緑色の孔雀石)+白色の風化物も付着。	黄銅鉱
A4		黄銅鉱		14*10*6	黄褐色に表面酸化した黄銅鉱、さらに孔雀石も付着、一部溶解した穴の中を孔雀石が皮膜上に覆う。	黄銅鉱
A5		硫酸銅		5*3*3	黄銅鉱のかたまりの間に孔雀石や胆礬生成。	硫酸銅
A6		黄鉄鉱		7*6*6	五角十二面体自形結晶。	黄鉄鉱

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
A7		緑青石		13*9*6	黄銅鉱の鉱石（一部黄銅鉱自形結晶）の表面に銅の二次鉱物として付着，孔雀石と共生，	緑青石
A8		黄銅鉱		8*6*5	黄銅鉱自形結晶，0.5～1.5 cm径，ガマ状に晶出，	黄銅鉱
A9		金鉱石		7*7*10	桃白色～白色の石英を主とした1～2 mmのエレクトラムも見られる，黄緑色部がまだら状に産する，	金鉱石
A10		金鉱石		8*6*4	白桃色の石英，表面に黄色の粉状物が付着，	金鉱石
A11		硫酸銅		10*8*2	銅鉱のガマ表面に胆礬，重晶石が晶出，	硫酸銅
A12-1		氷長石		10*6*5	ガマの表面に石英を基地として房状に晶出，一部に0.5～1 cmの黄銅鉱結晶が晶出，	氷長石
A12-2		氷長石		11*10*3	ガマの表面に石英を基地として房状に晶出，一部に0.5～1 cmの黄銅鉱結晶が晶出，	氷長石
A12-3		氷長石		14*15*14	安山岩レキの母岩～ガマの表面に晶出，黒色に錆びた黄銅鉱も，	氷長石
A12-4		氷長石		11*16*16	ガマに晶出した1～2 mmのぶどう状石英・緑泥石と産出，	氷長石
A13		黄銅鉱・方鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山引割坑	8*3*2	ほぼ黄銅鉱からなり，一部に方鉛鉱が付着，	黄銅鉱・方鉛鉱
A14		藍銅鉱・緑青石	秋田県北秋田市阿仁鉱山二十四孝坑	11*7*11	黄銅鉱-石英鉱石の表面に二次富化鉱物として付着，	藍銅鉱・緑青石
A15		閃亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山引割坑	9*5*10	石英脈のガマの表面に7 cmサイズの自形結晶と2～3 cmサイズの閃亜鉛鉱が付着成長，あめ茶色～暗褐色，石英も六角柱状結晶として付着 1.0～0.5 cm位，	亜鉛鉱
A16		紫水晶	秋田県北秋田市阿仁鉱山新通洞坑	28*21*6	鉱脈中のガマで形成される紫水晶の群晶，大きさ，色，艶において国産の紫水晶の群晶の標本としてはトップクラス，	紫水晶

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
A17		硫砒銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山	10*5*2	安山岩母岩の割れ目に付着して晶出（1～2 mmサイズ）、表面（黒色にサビ状）。	硫砒銅鉱
A18		自然銅・赤鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	6*5*2	板状の鉱石の割れ目表面に自然銅からなる2～5 mmサイズの自形結晶付着。	自然銅・赤鉄鉱
A19-1		水晶	秋田県北秋田市阿仁鉱山	5*4*3	白濁した自形単結晶。先端部は透明。	水晶
A19-2		水晶	秋田県北秋田市阿仁鉱山	7*3*3	全体が白濁した水晶結晶。	水晶
A19-3		水晶	秋田県北秋田市阿仁鉱山	7*10*7	2つの透明単結晶。2ヶが双晶状に産出（4～6 cm）、その基部にも1 cmサイズの長さの石英が密集。	水晶
A20		緑青石	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	2*3*2	褐色にサビた黄銅鉱の表面に緑色～緑白色の緑青石が二次鉱物として産出。	緑青石
A21		亜鉛鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山	6*3*2	閃亜鉛鉱0.5～1 cmサイズの結晶の集合体（あめ色）、閃亜鉛鉱の表面に薄く石英付着している面もある。	亜鉛鉱
A22		ヌケガラ	秋田県北秋田市阿仁鉱山新通洞坑	12*7*5	晶出していた（方解石？）が溶解してそれを取りかこんでいた石英の集合体が残ったもの（紫水晶部もある）。	ヌケガラ
A23		黄銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山二十四孝坑	15*8*8	黄褐色～黒色にサビた黄銅鉱結晶の集合体、一部に孔雀石が析出。	黄銅鉱
A24		輝銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	6*6*5	藍色～暗黒色を呈する、塊状、中央部は黄銅鉱自形結晶と思われる。	輝銅鉱
A25		輝銅鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	(1)8.5*5*5 (2)5*3*2	大小2点。二次的に形成した塊状の輝銅鉱で、鉱石の大部分が輝銅鉱系の鉱物に交代されている。輝銅鉱類は黄銅鉱の倍以上の銅を含むことから、銅高品位鉱でもある。	輝銅鉱
A26		草色水晶	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	4*3*3	軸部に淡緑色部、1*2 cmサイズの自形結晶が6個。そのまわりに細粒の石英が囲む。	草色水晶
A27		石綿？	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	5*4*2	石綿？阿仁に算出するか？暗緑色の母岩（泥岩？）中に2*15 mmの葉片上の組織。石英脈＋石膏？が繊維状に産出している？	石綿
A28		貝化石	秋田県北秋田市阿仁鉱山引割坑	9*7*5	4*3 cmの貝（アナダラ？）の集合体。	貝化石

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
A29		赤鉄鉱	秋田県北秋田市阿仁鉱山二十四孝坑	8*5*4	1~2 mmサイズの黒褐色板状結晶の集合体.	赤鉄鉱
A30		硫酸銅	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	5*4*5	二次的に淡青白色を有する板状晶出物が溶解沈殿を繰り返している.	硫酸銅
A31	11-307	燐灰石	栃木県日光市足尾銅山	7*6*3	銅鉱石のガマに板状の結晶(7*7*2 mmサイズ)が析出.	燐灰石
A32	15-253	斑銅鉱		6*6*1	褐色の表面酸化した黄銅鉱で、そのまわりに暗緑色の鉱物集合体が産出(一部に暗黒色の自形結晶面も認められる).	斑銅鉱
A33	12-355	黒曜石(十勝石)	北海道	16*12*10	黒色の火山ガラスに赤鉄鉱を含む. 赤色部がすみ流し状に産出.	黒曜石(十勝石)
A34	12-329	水晶	日本	10*5*5	半透明~透明の六角柱状、やや白濁して流体包有物を多く含んでいる.	水晶
A35		ラドラム鉄鉱	栃木県日光市足尾銅山	2*3*2	暗緑黒色の板状結晶. 下地の大部分は燐灰石の集合体.	ラドラム鉄鉱
A36	11-217	黄銅鉱		7*6*4	ガマに晶出した黄銅鉱と石英、1~1.5 cmサイズの黄銅鉱とその表面Φ2~7 mmの六角柱状石英.	黄銅鉱
A37	14-242	方解石		6*4*3	ガマ晶出部、黄銅鉱と方解石、黄銅鉱:0.5~1 cmの自形結晶、方解石:0.5*(0.1~0.2)の板状結晶の集合体.	方解石
A38		自然金	山梨県甲州市黒川鉱山	3*2*1	1.5 cm中の石英脈、縞状.	自然金
A39		方鉛鉱	埼玉県秩父市秩父鉱山	5*3*3	表面酸化して黄銅鉱鉱石の晶洞中に方鉛鉱結晶.	方鉛鉱
A40	12-326	水晶	山梨県		6個の透明水晶(Φ2~3 cm、長さ5~6 cm)と3個の黒水晶(Φ1.5~2 cm、長さ2~3 cm).	水晶
A41		閃亜鉛鉱		16*7*6	方解石+石英の脈とその晶洞に2 cmサイズのあめ色の閃亜鉛鉱単結晶2~5 mmサイズの小粒の黄銅鉱結晶も付着、脈中には淡緑色の緑泥石もあり.	閃亜鉛鉱
A42		エレクトラム	静岡県伊豆市清越鉱山		1~3 mm粒状物質、4個.	エレクトラム

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
A43		銀黒	鹿児島県伊佐市菱刈鉱山	5*3*1	石英脈中に1~2 mm大の銀黒の帯として産する。	銀黒
A44-1		硫鉄鉱・ざくろ石	岩手県釜石市釜石鉱山	5*4*2	磁鉄鉱塊状の集合体, 塊状。	硫鉄鉱+ざくろ石
A44-2		硫鉄鉱・ざくろ石	岩手県釜石市釜石鉱山	7*4*3	ザクろ石を含む, スカルン部分, 割れ目に石英+黄銅鉱が付着。	硫鉄鉱+ざくろ石
A45		プーランジェ鉱・毛鉱	埼玉県秩父市秩父鉱山	7*5*3	母岩の壁 5~7 mm中にプーランジェ鉱+毛鉱+水晶が析出。	プーランジェ鉱・毛鉱
A46	12-304	菱マンガン鉱	青森県中津軽郡西目屋村尾太鉱山	5*4*3	変質安山岩の母岩上に房状の菱マンガン鉱が覆っている, さらに黄鉄鉱集合体が重なる。	菱マンガン鉱
A47	11-314	藍銅鉱	南洋 ヤップ島	14*8*7	全体は緑色の孔雀石からなりその表面の一部に青色の藍銅鉱が付着。	藍銅鉱
A48	(外国産)	珪孔雀石		7*6*6	淡緑~緑褐色の集合体, 塊状, 青色のブロンシャン銅鉱も含む。	珪孔雀石
A49		(白)雲母	インド	7*12*0.2	淡褐色の一枚のフィルム状結晶。	雲母
A50	12-327	モリブデン鉱	山形県鶴岡市大広鉱山	7*8*3	淡黄色のアプライトの一部に板状の結晶が集合。	モリブデン鉱
A53		輝安鉱	兵庫県養父市中瀬鉱山	5*2*1	石英中に柱状の結晶が平行連晶状に配列。	輝安鉱
A54		方鉛鉱・閃亜鉛鉱	メキシコ チワワ州 Naica鉱山	4*3*2	閃亜鉛鉱+方鉛鉱 1~1.5 cm単結晶の集合, その間に細粒な黄銅鉱も付着, さらにドロマイトも共生して産する。	方鉛鉱・閃亜鉛鉱
A55-1	硬質雲母	雲母	インド	7*7*0.3	透明の雲母。	雲母
A55-2		雲母	インド	6*5*0.5	透明の雲母。	雲母
A55-3		雲母	インド	5*4*0.3	六角板状雲母。	雲母
A55-4		雲母	インド	4*2*0.1	淡黒色。	雲母
A55-5		雲母	インド	5*2*0.3	黒色雲母の結晶 (一部)。	雲母
A56		方解石		6*5*3	白~半透明結晶集合体, 0.5~1 cm結晶の集合体。	方解石

阿仁郷土文化保存伝承館所蔵標本目録

登録番号	ラベル記載番号	日本名	産地	サイズ(cm)	備考	現ラベル表記
A57		蛍石		5*3*4	透明～白色～淡緑色の集合体，一つの結晶は0.5～1 cmサイズ.	蛍石
A58	12-380	モリブデン鉱	メキシコ サンフランシスコ	8*5*2	モリブデン鉛鉱，Pb(MoO ₄)，0.5～0.8cm径，板状結晶.	モリブデン鉱
A59		デュルレ鉱（アニライト）	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑	1*0.3*0.3	6本程度，黒色の長柱状単結晶.	デュルレ鉱（阿仁ライト）
A60		砂金	秋田県北秋田市阿仁鉱山湯口内沢上流（阿仁鉱山発祥）		2～3 mmの薄い板状.	砂金
A61		アニライト	秋田県北秋田市阿仁鉱山中央坑中央鑛下二番坑		黒色柱状結晶.	アニライト
A62		赤鉄鉱・自然銅	秋田県北秋田市阿仁鉱山二十四孝坑	3*3*2	金属光沢の板状赤銅鉱の表面に自然銅付着.	赤鉄鉱・自然銅
A63		自然銅		0.5*0.5*0.1	酸化した自然銅が重晶石に付着．板状.	自然銅
A64-1		自然銅		5*5*1	黄色化した重晶石を覆って自然銅が分布.	自然銅
A64-2		自然銅		7*4*2	鉱石表面をスライム状にコーティングした自然銅.	自然銅
A65		自然銅			箱内に多数の標本，一部アニライトあり．自然銅の大きいものは3*3*0.3 mm，赤銅色～黒色で樹枝状集合体.	自然銅
A66		自然銅	秋田県合川町		フィルム～樹枝状集合体2個，一部に小粒の重晶石が付着.	自然銅
A67		自然銅			樹枝状サンプル数枚.	自然銅